

6

岡山の強みをいかした産業を広げる



都市づくりの基本方向

地域経済の活性化のためには、
都市の持つ強みをいかした産業政策が必要です。
そのため、岡山市の強みである
健康・医療・福祉・環境・教育の都市機能集積と
広域交通の拠点性をいかすとともに、
戦略的にコンベンション¹シティを構築します。
さらに、多彩で恵まれた農産物と
瀬戸内の海の幸をいかし、
安全で付加価値の高い食産業の育成を図ります。

¹ コンベンション(convention): 特定の目的で多数の人が集まること。会議、学会、見本市、展示場、博覧会、スポーツ大会、発表会など。

6 岡山の強みをいかした産業

背景と課題

地方経済においては、経済のグローバル化や情報管理機能の東京一極集中、後継者不足等を背景とした産業の空洞化が顕在化しており、地域の伝統に根ざした強みをいかせる産業の再生が課題となっています。

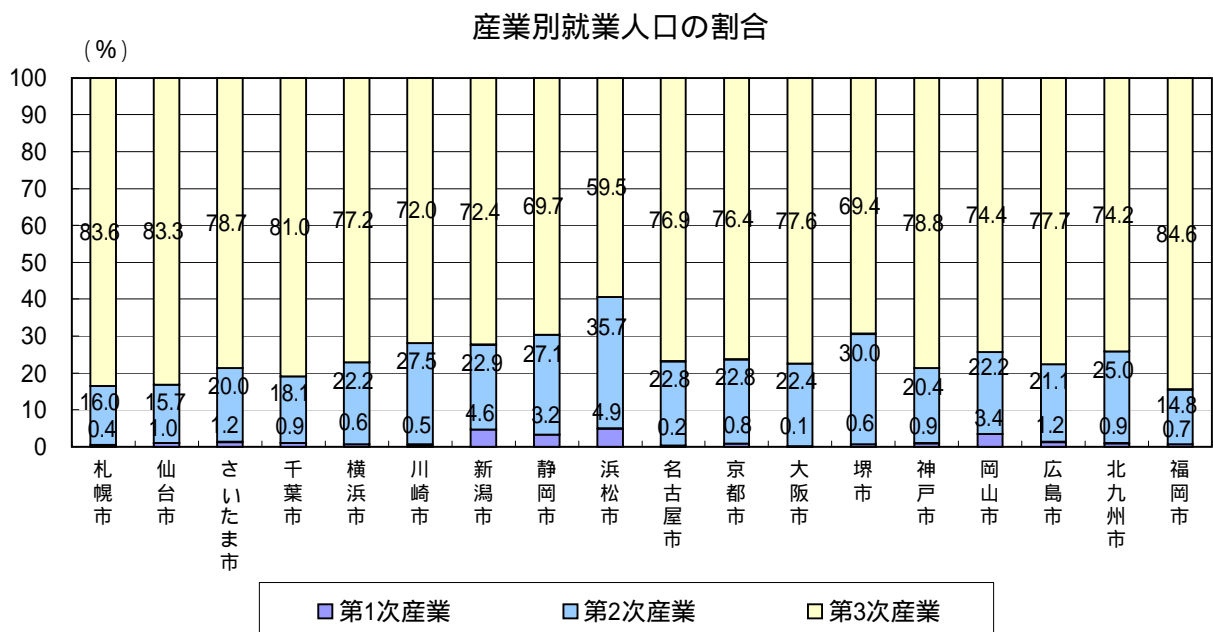
また、高齢化の進行や社会の成熟化に対応したきめ細かで高品質な生活サービス産業の創出、地域における産学官連携の強化や地域ブランドの形成・発信など付加価値の高いサービス産業の展開が重要です。

都市の活性化や拠点性の向上のためには、人・もの・情報の交流と集積を図ることが重要です。都市間競争が激しさを増す中、広域交通のクロスポイントに位置するという強みと医療・福祉・教育などの得意分野をいかし、戦略的にコンベンション¹機能を強化する必要があります。

我が国の食料自給率は長期的に低落し、約40%と主要先進国で最低水準にあり、世界の食料需給が逼迫する懸念もある中で、農業生産基盤の整備、担い手育成、地産地消の拡大など食料自給率の向上と食料供給力の強化が求められています。

また、食は生活の基礎であるだけでなく、健康や人生の楽しみとしても大切なものであり、消費者の健康・安全志向が高まる中で、食品偽装表示や輸入食品のリスクなど食に対する信頼を揺るがす事態が相次いでおり、安全な食の供給に対するニーズが高まっています。

さらに、食の供給に加え、国土の保全、水源のかん養、良好な景観形成など多面的な機能を有している農林水産業の基盤を守ることや、顕在化しつつある担い手の高齢化や後継者不足などの課題への対応が求められています。



従業地分、分類不能の産業は含まない。
出典：平成17年国勢調査

を広げる

推進すべき政策・施策

次の3つの政策(プロジェクト)により、主に産業分野における都市づくりを推進します。

1 強みをいかした産業育成プロジェクト

都市機能集積を
いかして地域経済を
活性化する



産学官連携による新たな産業分野の育成

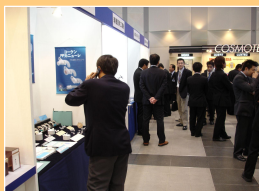
地場産業の市場競争力強化

商都岡山の商業力強化

広域産業基盤をいかした産業振興

2 コンベンションシティ構築プロジェクト

地理的な優位性や
地域資源をいかす



コンベンションシティの体制整備

人的ネットワークによる国際経済交流

アフターコンベンションの資源開発

3 安全で豊かな食産業プロジェクト

安全で付加価値の高い
食を安定的に供給する



安全で安心な食の供給

総合的なブランド化の推進

担い手の確保と経営強化

生産基盤の整備

1 コンベンション(convention): P75の脚注参照。

1 強みをいかした産業育成プロ

強い経済基盤の上に自立した都市づくりを進め、
都市活動を活性化させるため、
戦略性のある産業政策を確立して産業振興を進めます。
とりわけ、健康、医療、福祉、環境、教育の都市機能集積をいかし、
関係機関とも連携を図りながら、
新産業創出、企業立地と地場産業の育成に努め、
市民の雇用拡大や生活の質の向上につなげます。

産学官連携による新たな産業分野の育成

医療、福祉などの分野に重点を置いた研究開発型産業の育成を図るため、大学・県等と連携し、大学発ベンチャーの起業や企業と大学との共同研究を支援するとともに、情報提供に努めます。

また、産・学・官共同による技術セミナーやコンベンション¹の開催支援、ビジネスマッチング²などを通じて、人・もの・情報の交流と大学等の優れた技術の産業界への移転を促進します。



岡山大インキュベータ

地場産業の市場競争力強化

医療、工学、福祉の異分野産業の連携、異業種間の交流や共同研究を促し、事業化や新たな市場の開拓などの支援を図ります。

また、地域の産業を支える人材の育成、技術の高度化、新製品開発や資金調達の円滑化を支援するなど、ベンチャー企業をはじめ、中小企業の経営基盤の強化を促進します。

さらに、独自技術を持つ企業の育成のため、中小企業診断士、投資家、金融機関などの専門家とのマッチングや商談会、見本市出展や技術セミナーを通じた販路拡大などの支援に努めます。



広域取引商談会

ジェクト

商都岡山の商業力強化

商都としての歴史と集積をいかながら、岡山駅周辺と表町周辺の二つの商業集積を有機的に結びつけ、一体的で魅力的な空間づくりを進めます。

また、商店街や個々の店舗の魅力向上と情報の発信を支援するなど地域商業の活性化を図るとともに、人が集うオープンスペースや魅力ある個性的な店舗の集積により、賑わいと楽しいショッピング空間の創出に努めます。



備前岡山ええじゃないか大誓文払い

広域産業基盤をいかした産業振興

道路・鉄道・空路等が集中する広域交通基盤や工業集積などの強みを最大限にいかし、県や近隣諸都市等と連携して産業振興政策を推進します。

また、人的なネットワークをいかした企業立地の促進を図り、企業立地に関わる相談、手続きのワンストップサービス³化や立地企業のアフターフォローに努めます。



御津工業団地



表町商店街

成果指標

指標名	基準値(平成17年度)	平成22年度	平成27年度	平成37年度
岡山市の工業力(岡山市/中四国9県)	3.58%(H16)	3.6%	3.7%	4.0%
岡山市の事業所の集積度(岡山市/中四国9県)	5.54%(H16)	5.9%	6.4%	7.5%
岡山市の商業力(小売業)(岡山市/中四国9県)	6.4%(H16)	6.7%	6.9%	7.5%

1 コンベンション(convention): P75の脚注参照。

2 ビジネスマッチング: 中小企業やベンチャー企業、企業化の事業展開(販路開拓、資源調達など)を支援するため、それら企業などとビジネスパートナーの出会いの場を提供し、事業連携や事業提携などを推進する活動。

3 ワンストップサービス(one stop service): 複数の窓口に分かれている手続きを一か所の窓口でできるようにするサービス。

2 コンベンション¹シティ構築

人・もの・情報の交流と集積を図ることは、

都市に魅力と活力を生み出します。

このため、中四国における交流拠点性や健康、医療、福祉などの

都市機能集積、さらに優れた歴史、文化、自然などの地域資源をいかし、

国際会議やコンベンションの常時開催体制の整備と誘致を戦略的に進め、

コンベンションシティを構築します。

コンベンションシティの体制整備

(社)おかやま観光コンベンション協会(コンベンションビューロー)を核として、官民協働によるコンベンション施設のネットワークの構築とコンベンションを常時開催できる体制づくりを進めるとともに、戦略的な誘致活動の展開を図ります。



ママカリフォーラムでのコンベンション

人的ネットワークによる国際経済交流

産・学・官の協働により、国際経済交流に取り組みます。特に、岡山空港と航空路線で結ばれた都市や姉妹都市などとの交流をいかし、アジア圏域を中心として医療、福祉、学術、文化、観光などの幅広い分野での国際交流を促進します。

そして、それらの交流や人的ネットワークをコンベンション誘致等につなげていきます。



新竹市での特産展

プロジェクト

アフターコンベンションの資源開発

後樂園、岡山城をはじめとしたカルチャーゾーンなどの資源を活用するとともに、都心における食の楽しみ、アミューズメントなど街の魅力をさらに高め、快適な岡山の滞在環境を整えます。

また、近隣諸都市等と連携し、瀬戸内海や吉備路、温泉地など岡山を気軽に楽しめる観光ルートなどを開発していきます。



岡山城でのアフターコンベンション



ブルガリアでの見本市



ブルガリアでの見本市



新竹市での特産展

成果指標

指標名	基準値(平成17年度)	平成22年度	平成27年度	平成37年度
コンベンションの年間開催数	48件	70件	80件	100件
コンベンションの年間参加者数	5.2万人	6.3万人	8万人	10万人

1 コンベンション(convention): P75の脚注参照。

3 安全で豊かな食産業プロジェクト

「晴れの国」の恵まれた気候風土と豊かな水と田園で育まれる多彩な農産物と瀬戸内の海の幸は、岡山の優れた資源です。これらをいかし、活力ある農水畜産業の振興と消費者にとって安全で安心な「食」を供給するために、地域の特性に合わせた農業生産基盤を整え、その担い手を確保し育成するとともに、岡山ブランドを全国に発信します。

安全で安心な食の供給

生産者と消費者の交流の場づくりや地元農産物の情報提供、PR活動を進めるなど地産地消を進めるとともに、無農薬、減農薬、有機栽培などの普及を促進し、安全で安心な食の供給に努めます。特に、岡山米の良さを積極的にPRするとともに、米粉など加工品による米の消費拡大を図ります。

また、食と農の大切さを教える農業体験学習や中央卸売市場における市場開放やイベント、学校給食での岡山米をはじめとした地元産食材の使用を通じて、食育・食農教育を推進します。



トラック産直市

総合的なブランド化の推進

ブランドとして認知されている白桃、マスカット、ピオーネ、黄にら、千両ナスなどについて、生産者の支援に努めながら、その一層のPR活動、商品の販売戦略の構築を進めるとともに、安全で安心な「岡山の食」のブランド化など総合的なブランド化を推進します。

また、生産者と加工・販売業者等との農商工連携を促進し、加工品を含め、付加価値の高い新たな品目、品種を育てます。

さらに、食のフェア、見本市や試食会等の商品紹介の場を通じた販路拡大や観光やコンベンション¹と連携した情報発信に努めます。



学童農業体験

クト

担い手の確保と経営強化

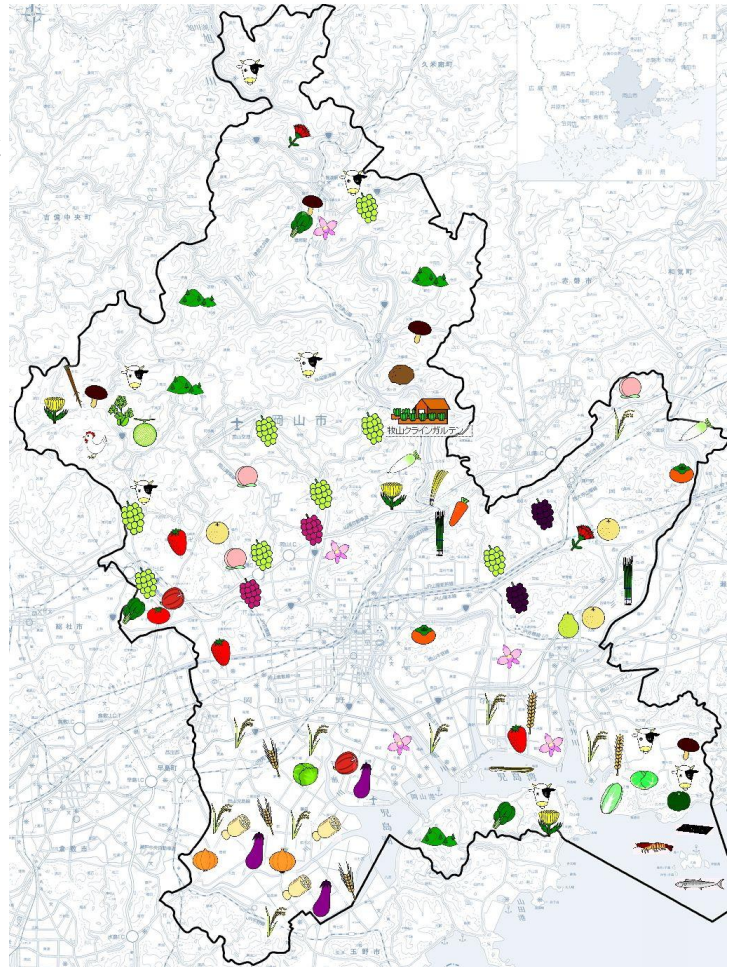
農業の担い手の中核となる認定農業者⁴の確保に努めるとともに、農業の組織化、法人化を促進し、経営基盤の強化や農地の利用集積による効率的で安定的な農業経営体の育成を図ります。

また、新たな就農希望者の支援や家族経営の農家の意欲と能力が発揮できる環境づくりなど、農業と里山・里海⁵の担い手の確保に努めます。

生産基盤の整備

農業の生産性の向上に加えて、自然環境の維持や防災、治水などの多面的機能もかんがみ、農地の保全と効率的な農業生産基盤の整備や適切な維持管理に努めるとともに、土地改良区の運営改善を図ります。

また、地域住民に農業生産基盤がもつ多面的機能についてPRを行い、農業者に限らず地域全体が農道や農業用排水路の保全等に取り組むことを促進します。



土地改良事業

成果指標

指標名	基準値(平成17年度)	平成22年度	平成27年度	平成37年度
岡山の農林水産物の安全・安心イメージ	49.5%(H19)	50%	65%	90%
認定農業者数	551経営体	660経営体	720経営体	720経営体
認定農業者等が耕作する農地の割合(利用集積率)	25%	29%	33%	50%

1 コンベンション(convention): P75の脚注参照。

4 認定農業者: 農業経営の規模拡大や合理化などの農業経営改善計画が市町村に認定された農業者。

5 里山/里海: 「里山」とは、奥山と都市の中間に位置し、集落とそれを取り巻く2次林、それらと混在する農地、ため池、草原等で構成される地域概念で、農林業などにとまなう様々な人間の働きかけを通じて環境が形成、維持されてきたもの。「里海」とは、人間の手で陸域と沿岸域が一体的・総合的に管理されることにより、生物循環機能が適切に維持され、高い生産性と生物多様性の保全が図られるとともに、人々の暮らしや伝統文化と深く関わり、人と自然が共生する沿岸海域。

